

## 令和2年度 第2回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和2年4月10日（金） 14時00分から14時50分まで

開催場所：第2委員会室

出席者：牧野市長、木下副市長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、米山リニア用地担当参事、松下市民協働環境部長、清水健康福祉部長、遠山産業経済部長、寺田産業経済部参事、北沢建設部長、島崎建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長代理齊藤庶務課長、串原市長公室長、田中危機管理室長、原会計管理者、吉川議会事務局長、今村教育次長代理馬場文化財担当課長、赤羽目消防長、塚平財政課副参事、原田秘書広報課長、田中企画課長

### 会議内容

#### 1 理事者あいさつ

##### <市長>

新型コロナウイルス感染症の影響が広がっている状況にあるが、各部署でご尽力をいただいていることに感謝を申し上げる。新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き最優先に取り組んでいただきたい。

国の緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、それに基づき記者会見の中で市民の皆さんへメッセージを出させていただいたところである。新型コロナウイルス感染症については長期戦になると受け止めており、感染拡大防止とともに経済対策も併せて総合的に考えていかなければならぬと考えている。できるだけ早くパッケージにして総合的な対策を出していく必要があり、各部署で引き続き協議をお願いしたい。

状況が刻々と変化し、今までに経験がないことであるが、一丸となってこの難局を乗り越えていきたい。職員一人ひとりが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて何ができるか知恵を出し合っていただくとともに自覚を持った対応を改めてお願いしたい。

##### <副市長>

新型コロナウイルス感染症については、人の動きが止まると、暮らしや経済に多大な影響が出ることを実感している。市長から総合的な対策の話があったが、市民の皆さんの声にしっかりと耳を傾け、状況を把握することが重要である。適時適確な取組を進めていくために、引き続きよろしくお願いしたい。

#### 2 協議事項

##### (1) いいだ未来デザイン2028 中期計画策定に向けた進め方について（総合政策部）

◇趣 旨：令和2年度に予定している中期計画の策定の方向性やスケジュールを協議するとともに、令和元年度の戦略計画及び事務事業実績評価表の作成について共有する。

##### ◇論点・課題

- ・新型コロナウイルス感染症による市民の暮らしや経済、医療等への影響の実態把握を進めながら、コロナ対策の視点を踏まえて計画を策定していく。
- ・現状では、今まで通りの会議の開催が難しいと考えられるので、個別のヒアリングや書面調査など市民の皆さんの声を反映できるよう工夫しながら、議会と綿密な協議を行い進めていく。

##### ◇主な意見等

(市民協働環境部長) 中期計画の策定の基本的な考え方だが、コロナ対策という面もある一方で、2028年に向けて考える中では、これからの中期4年間で極めて重要と捉えており、計画の柱をしっかりと据える必要があると思う。前期の12個の基本目標を俯瞰的に振り返る視点と各部署での具体的な振り返りと両面で進めるべきだと考えている。総合政策部だけの考えではなく、各部署でも振り返りを行い、ボトムアップで計画策定を進めていただきたい。方向性やスケジュールについては、マネジメントリーダー会議でもさらに協議をしていきたいと思う。

(総合政策部長) 市民協働環境部長の意見についてはその通りだと考えている。過去3年を振り返りながら現状をきちんと把握することが重要と考えている。基本目標についてもどのような形がよいか、マネジメントリーダーを中心に協議をお願いしたいと思うので、改めて会議の場を設定させていただく。

(市民協働環境部長) 計画策定については、職員の意識付けや能力形成という意味でも過程を大切にしていきたい。

(総務部長) いろいろな考え方があるが、このコロナ対策に注力している現状の中で、中期計画をじっくりと立てられるかどうかという心配もある。中期計画の策定を一年延長してでも、コロナ対策に全力で取り組むという考え方もあってもいいのではとも思う。いずれにしても、コロナの状況を注視しながらいろいろな選択肢を用意して柔軟に進めていくべきだと考えている。

(総合政策部長) そういったことも選択肢としては考えた。中期の4年が非常に大事な期間であることは間違いないので、自動延長ということではなく、まずはチャレンジをしていきたいと考えている。

(市長公室長) まずは新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組む中で、飯田の絵姿をどのように描くか部長会でもしっかりと考えながら、職員からもさまざまな意見をもらうことが大切であると思う。

(市長) これまでもリーマン・ショックや東日本大震災等が起こった際に、価値観が変わるということを目の当たりにしてきた。コロナによって東京一極集中が見直されるのではないかと考える中で、リニア新幹線が通る当地域はピンチをチャンスに変える土壌があると考えている。そういった考え方も含めて、足元の状況が見えない中でどのように進めるか一緒に考えていきたい。

(総合政策部長) 現状では難しい部分が多々あるが、皆さんから引き続きご意見をいただき進めていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

## (2) 庁議の持ち方等について (総合政策部)

◇趣 旨： 庁議付議手順や各種計画の策定等について留意事項を共有する。

### ◇論点・課題

- ・各部課で課題や相談案件が生じた場合には、政策会議・政策協議をご活用いただく。特に緊急性の高い案件は対応に遅れが生じないように留意する。

### ◇主な意見等

特になし

### ◇協議結果

部長会了承

## 3 報告事項

### (1) 令和元年度一般会計補正予算 (第 10 号・専決) について (総務部)

◇趣 旨： 令和元年度一般会計補正予算 (第 10 号・専決) について、令和 2 年 3 月 31 日付けで専決処分した内容を報告する。

### ◇主な意見等

特になし

## 4 閉 会